



買い物帰りで手がふさがっていても「顔」だけで入館できる



予め登録した顔でしか開閉できないので、防犯性も高い

非接触社会の救世主、「顔認証ドア」があなたのマンションでも。

歩いていてだけで オートロックが開く！



副島理事長は「既存のドアに後付けできるうえ、コスト面でも高く評価できる」と語る

新型コロナウイルス流行の影響で「ドアの開け方」にも変化が起きている。そんな中、利用者の「顔」を認識してドアを開閉する「顔認証ドア」が注目されている。オートロックの操作盤に触れることがないからウイルスの感染予防になるうえ、鍵を取り出したりする手間がなくなるから利便性も向上。ウィズコロナと言われるこれからの時代の救世主とも言えそうだ。

今回、「顔」でマンションのオートロックを開けるソリューションを発表したのは「スマートフォンで開ける鍵」スマートロックの「bitlock LITE」などを手

掛ける株式会社ビットキー（東京都中央区）。予め顔情報を登録した住民であれば歩いてくるだけでエントランスのドアが開く。両手に荷物を持っていたり、ベビーカーを押していたり、そのまま「ウォークスルー」入館が可能となる。

これを可能にしたのがサイバーリンク社の顔認証ソフトウェア「FaceMe」。今回の顔認証エンジンとしてソリューションに組み込まれている。一般的な顔認証ではカメラの前で正面を向いて静止する必要がある。しかし、「ウォークスルー顔認証」を可能にした「FaceMe」は、歩いていても認証でき、また、横顔に近い角度でも認証が可能なので、小さな子供と一緒に入るときでも子供から目を離さずに入ることができ

設置第一号となったのは東京都江東区の「プラウドタワー東雲キャナルコート」。全600戸の大型マンションだ。副島規正管理組合理事長は、「感染予防はもちろん、出入りもスムーズで利便性も高い」と太鼓判を押す。

ドアを開けるのに、わざわざ鍵を取り出したり、暗証番号を入力したり、という時代の終焉はすぐそこまできているようだ。